

# 花一会図書館便り

8・9月号 花一会図書館 作成/令和7年9月16日発行

【TEL&FAX】

0136-57-6085



花一会 HP



Facebook



Instagram

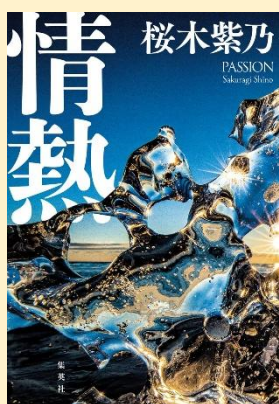


X(旧 Twitter)

## 今月のおすすめ本 コーナー

世界最高峰のミステリー文学賞

「ダガー賞」翻訳小説部門受賞



### 『情熱』

桜木紫乃(集英社)

登場人物たちのほとんどが還暦付近。すでに人生において何かしらを成し遂げてはいるが、その先に更に進むべき道を探して戸惑っている。行く先に迷った大人たちに、情熱と言う熾火が羅針盤となりうることを読む者の心に刻み込む6篇の物語。

(蘭越町 笠井三葉留)

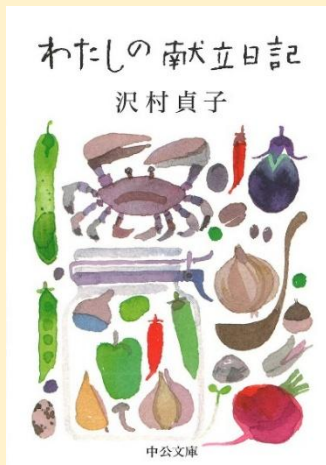


### 『ババヤガの夜』

王谷晶(集英社)

圧倒的な戦闘力を買われて、不本意ながらあるヤクザの娘の護衛となった依子。男たちが支配する暴力の世界から自分とその娘の解放のため牙を剥く。中盤からの展開は思いもよらぬものとなる。彼女たちの行く末をその目で確かめてほしい。

(蘭越町 笠井三葉留)



### 『わたしの献立日記』

沢村貞子(中央公論新社)

もう、何年も前の母を思い出させてくれた本でした。母の料理は、とても美味でした。煮豆、ピーマン入り玉子焼き、巻寿司、豆と人参とセロリのサラダ等々…。特に、思い出すのはぬか漬です。88ページを読んで、“あー、そうだった！”と思ったのです。ビオフェルミン！！母は、いつもぬか床にビオフェルミンを入れてました。あの頃、母は何故知ってたのか？週刊誌もテレビも余り見ない母の唯一の愛読書は『暮らしの手帖』でした。多分、そこにあったのでしょうか。私のぬか床が、何故母の味にならないのか…解りました。ビオフェルミン、買いに行きます。

(蘭越町 西村)



花一会の  
貸出し状況を  
チェック！



よ ほん おも で た  
読んだ本も、思い出も、どんどん貯まる

# ど く し ょ ちょう 読書おもいで帳 をつくろう!

むりょう  
無料です!



き ぼ う か た し ょ く い ん こ え  
ご希望の方は、カウンターの職員にお声がけください

どくしょ ちょう なに  
「読書おもいで帳」って何?

- ◆ 花一会図書館で借りた本のタイトルや貸出し日などを記録できる通帳です。
- ◆ 通帳1冊につき、336冊分の貸出し記録が印字できます。
- ◆ 花一会図書館の利用登録をしている方は、どなたでも作ることができます。
- ◆ 町内の小中学生へは、各学校で配布しています。(学校でも利用できます)